

# この子らと

令和2年10月

## まことの保育



鹿児島竜谷学園和光幼稚園

園長 川口公男



境内に「銀杏の木」がそびえたっています。青々としていたいちよの葉に少しずつ変化が見られます。

正門から境内のイチヨウの葉っぱの変化をながめながら、季節の移り変わりとともに「葉っぱのフレディー」の童話を思い出しています。

### いのちの旅「葉っぱのフレディー」

この絵本は、アメリカの哲学者、レオ・パスカーナが生涯にたった一度だけ書いた絵本です。

フレディーとダニエルの会話を通して、生きるとはどうか、死とは何かを考えさせてくれます。「死ぬということも、変わることの一つなのだよ」というダニエルの言葉に著者の哲学が込められているようです。

人生も半ばを過ぎたころ、この本と出会い、この絵本を読んで、とても感銘を受けましたので一部ご紹介いたします。

「大きな木の太い枝に生まれた葉っぱのフレディー。春に生まれたフレディーは、数えきれないほどの葉っぱに取り巻かれていました。フレディーは、夏の間、気持ちよく楽しく過ごしていました。秋が来ると、みなそれぞれ違う色に色づいていきます。そして冬、とうとう葉っぱが死ぬときがきます。死ぬとはどういうことなのか、……。ダニエルは、フレディーにいのちについて説きます。……

フレディーは、自分が生きてきた意味について考えます。「ねえ、ダニエル、ぼくは生まれてきて良かったのだろうか。」そして、最後の葉っぱとなったフレディーは、地面に降り、ねむりにつきます。」

子どもたちにも季節の移り変わりとともに境内のイチヨウの葉っぱの色の変化に目を向けるように話しています。諸行無常への気付きです。

### With コロナの運動会

新型コロナウイルス感染は、相も変わらず増減を繰り返しています。幾世代にわたって連綿と受け継がれている運動会。「健康チェック表」のご提出を要件にこの不安定な状況においても参加人数をしばらずに実施することにいたしました。

#### 年少少組の子どもたちの練習



保護者のみなさまも職員も、子どもたちが演出する壮大な光景に涙を流さずにはおられない運動会。子どもたちの一生懸命に、そして成長に感動する運動会です。

「涙が勝手に流れます。我が子の成長にはもちろん、他の子どもの一生懸命な姿にもぐっときます。」

「練習頑張った結果だなといろいろと考えてたら胸がいっぱいになりました。」

「子どもたちの一生懸命な姿を見ると、このままずっと、素直に育ってほしいと思います。やっぱり感動します。」

子どもたちからの贈り物「感動」をお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなで分かち合いたいという思いで、「入場制限なし」といたしました。コロナ対策とともにです。ご協力をよろしく願いいたします。

### 10月11日(日)運動会が雨天の場合

同日、鹿児島市かんまちあ「屋根付イベント広場」で開催いたします。2学年を組み合わせ、前半・後半で入れ



替える予定です。駐車場は隣接しており106台駐車

が可能です。駐車場も入れ替える予定です。雨の場合一般客の利用は少ないと思いますが満車になり利用できないこともあります。詳細は後日お知らせいたします。